

部会で出された主なご意見と区役所の対応・考え方(令和4年度第3回)

番号	意見	当日の回答	区役所の対応・考え方	担当課
こども青少年部会				
1	<p>小規模校の再編に関して対象となっている池島小学校、八幡屋小学校、港晴小学校の保護者と区役所との意見交換会について報告する。</p> <p>保護者は、統廃合をぜひ進めてもらい、できるなら早く進めてもらいたいとの意見が多かった。</p> <p>中には、今まで小規模校で手厚く子どもたちを見てもらっていたのが、急に大人数になり子どもたちが適応できるか、池島小学校は寮があり他の地域はどう感じているか、一地域一小学校の地域行事がどうなるのかなど不安の声もあった。</p> <p>子どもたちのことを考えると単学級より複数学級で、小さな頃からいろんな人や価値感を持った人と触れ合えることが、より子どもたちの成長にプラスになると思う。</p>	<p>区役所として現時点でまだ具体的な案はないが、この課題は置いておけないと認識しています。</p> <p>前区長提案の再編案の実現可能性を調査し、できないことも情報共有し合う上で意見交換を行いました。</p> <p>今回は、まだPTAの一部の方とのやりとりなので、今後、話し合いの機会を作つてかないといけないと考えており、いつどうしていくのかという案を出して欲しいとの意見もあったので、素案という形で、来年度の早い段階に出て、それをもとに議論していきたいと思っています。</p> <p>また、地域としては別の声や意見もあると思いますので、そこは忌憚ないご意見をいただけたらと思っています。</p>	同左	
2	港区では学校選択制を選ぶ人が大阪市内と比べてかなり多くなっているが、その要因は何と考えられるか。	<p>西側の方で言えば、築港地域は地形的に運河を渡らないといけないし、道路もトラック等が多く走っています。そこを通って通学するのが危ないので、選択制で校区外の学校に行っている理由としてはあると思います。</p> <p>また、この結果だけで言えるかわかりませんが、学力なども選択理由としてあると思われます。</p>	同左	
3	港区で少し前から港区の他の学校に行くというより、私立を受験する子どもが増えてるのではないかという点で、何か区役所に情報が入ってきてているのか。	<p>港区の状況は掴めていません。</p> <p>受験のために小学生から塾へ行かせている家庭もあると思われます。</p>	同左	協働まちづくり推進課 (教育・人権啓発)
4	<p>オブザーバー参加の小・中学校の幹事校長に学校の現状と課題について、不登校対応、学校選択制、体験学習講話、学校サポート関係、放課後・休日の校内での学習の場の提供案等について話をいただいた。</p> <p>また、委員からも、会館での学習教室(寺子屋)の現状等の話をいただいた。</p>	<p>最後に区長から、</p> <p>学校適正化について、昨年、前区長が再編案を言って出て行かれたが、小学校とあわせて、中学校の単学級、小規模化が大きな課題であり、小さくてアットホームで良い学校だが、宿泊学習、一泊移住ができる状況にある。隣の学校なら行けるのに、その権利がないのは本当にもったいないことで、何とかしてあげたいという思い。</p> <p>こうしたことからも、皆さんのご意見もいただきながら進めていきたいと思います。</p> <p>色々とテーマが広がりましたが、1人も取りこぼさない教育は、すごく大変なことで、学校もすごく頑張っていても、先生たちにも限界があり、そこを地域の方やPTAの方などが、見守って、声をかけて、何か嬉しいという気持ちになることで、またやる気にも繋がり、そういう町にしていければと思いますので、よろしくお願ひします。</p>	同左	